

会 議 録

会議の名称	行田市在宅医療・介護連携推進協議会 患者情報共有・ICT 部会	
開催日時	令和6年1月11日(木) 開会：19時00分・閉会：19時45分	
開催場所	産業文化会館管理棟 2A会議室	
出席者(委員)氏名	藤井尚子、上村勇樹、松原克彦、小沼 豊蔵、石島弘美、平賀絵美、 淵上通子、村上万里子、川島 治	
欠席者(委員)氏名	栗原 肇、江袋文紀、大山恵巳	
事務局	行田市高齢者福祉課地域包括ケアグループ 行田市機能強化型地域包括支援センター緑風苑	
会議内容	I. 前回のまとめ II. 議題 1. MCSについて 2. 「わたしの人生ファイル」について	
会議資料	(資料名・概要等) ・ICT/患者情報共有部会次第	
その他必要事項		
会議録の確定		
確定年月日	主宰者記名	
令和6年2月13日	藤井 尚子	
	上 村 勇 樹	

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
藤井委員 各委員	<p>【開会】 19：00</p> <p>I. 前回のまとめ</p> <p>1. MCS について</p> <p>行田市医師会として、MCS の運用ポリシーについて、柔軟な運用へ変更していくことになった。個人情報の取扱いの部分に関しては、今までどおり、医師会が責任を持つこととした。</p> <p>市内の訪問看護ステーションのうち、MCS を活用しているのは1件。宮代町や蓮田市は活用実績が多い。</p> <p>MCS の活用を第1の目的にするよりも、まずは関係機関や多職種の関係づくりが必要なのではないか。</p> <p>MCS の活用以前に連携がとれているとはいえない状況もある。</p> <p>サービス担当者会議の際、関わる事業所と家族などの日程調整が大変であるが、MCS で行えると調整しやすいのではないか。</p> <p>2. 人生ファイルについて (次第のとおり)</p> <p>II. 議題</p> <p>1. MCS について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の進め方 <p>医療介護のネットワーク体制を作るためにも、在宅医療・介護連携事業の研修案内について、MCS を介して通知することも検討してもよいのではないか。</p> <p>MCS の機能及び加入率を確認し、検討することとする。</p> <p>2. 人生ファイルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行田人 18 号誌の原稿確認

ふら平さんが退院する時期で、希望が出てきた状況をイメージして作成したもの。

・第19号は災害、20号は人生の最終段階の場면을予定避難所での場면을想定。

災害想定は、難しい面がある。ケース by ケースで、命からがらの場面ではすぐわないのではないか。

災害対応にはフェーズがあり、在宅医療・介護連携は、一時的な災害対応が落ち着いた後に関わることが多い。

避難所での生活を想定し、本人の体調変化などの記録媒体としての人生ファイルを活用するイメージで作成したい。

人生ファイルは修正したほうが良いところがあるのではないか。

意見として多いものが、「書くのが大変。」というもの。現時点では、本人が書けそうなところだけ書いてもらえればよいのではないか。

サイズが大きく、持ち運びが大変との意見がある。

専門的な箇所（特に口腔のページ）は、他の専門職が見てわかりにくいところがある。歯の部分は修正が必要ではないか。次回以降、より具体的に検討していく。特に、ハード面については、検討したい。

【閉会】 19 : 45